

1月23日(水) 本年度第27回(通算2666回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『年男大いに語る』

担当/プログラム委員会

☆出席報告【会員総数63名 免除7名 出席計算に用いた会員数63名】

1月12日出席者	32名	51%
1月23日出席者	32名	51%

☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君 ～ 年男大いに語ってください。
- ・小林 裕幸君 ～ 同 上
- ・田野 竜之介君 ～ 結婚祝いありがとうございます。
- ・北川 健二君 ～ 今年もよろしくお祈りします。
- ・松原 久幸君 ～ 誕生日ケーキありがとう。
- ・村井 順一君 ～ 今年もよろしくお祈りします。
- ・平井 昌弘君 ～ 4年目になりました、これからもよろしくお祈りします。
- ・布目 九一君 ～ 結婚記念日です、42年になりました。
- ・小野寺 英夫君 ～ スピーチよろしくお祈りします。大いに語ってください。
- ・丹葉 一恵君 ～ 誕生日ケーキありがとうございました。
- ・坂入 信行君 ～ 同 上

☆会長挨拶☆ 《高橋会長》

1月12日(土)分

主催者(会長)挨拶

主催者を代表いたしまして一言ご挨拶させていただきます。

まず、はじめにロータリーの事を少し説明させていただきたいと思っております。ロータリーは事業と専門職及び地域社会のリーダー約120万人が集まる国際的組織です。ロータリークラブの会員

は「ロータリアン」と呼ばれ、人道的奉仕を行いながらすべての職務における高い倫理基準を奨励し、世界の親善と平和の確立に寄与しています。200を超える国や地域に33,000以上のクラブが存在しています。クラブは、特定の政治や宗教にかかわらず、すべての文化、人類、信条に開かれた団体です。「超我の奉仕」というロータリーの標語に象徴されるように、ロータリーの主な目的は地域社会や職場、および世界での奉仕にあります。ロータリアンは毎週の会合で、現代の最も深刻な問題の数々に取り組む地域社会プロジェクトを計画しています。さらに、青少年プログラムを支援、キャリア開発を推進するほか、学生、教員、その他の社会人のための教育の機会や国際交流プログラムなども提供しています。

一部のパネルディスカッションは生田監督の好意により実現いたしました。二部につきましては、奉仕プロジェクトによる、本年度、会長を務めております私のテーマ「奉仕の輪を広げ、奉仕の理念で地域に活性化」のもとスポーツに焦点を合わせ、全国的に有名かつスポーツに詳しい小倉智昭さんに無理を言っていただき講演の運びとなりました。

どうか、本日はテレビでは聞けない話やスポーツ振興と地域の活性についての話を生の声で聞いていただきたいと思います。

簡単、措辞ではございますが挨拶にかえさせていただきます。



☆会長挨拶☆
《高橋会長》

1月23日(水)本日分



皆さんこんにちは！久々の通常例会です。9日の新年交礼会、12日の移動例会と続き大変ご苦勞様でした。特に12日の社会奉仕プロジェクトを中心に行われたクラブテーマ「奉仕の輪を広め、奉仕の理念で地域に活性を」を元に商工会青年部と共同主催でくしろ活性化プログラムを実施できた事大変うれしく思っております。ご協力して頂きました会員の皆様に深く感謝いたします。

1月は、ロータリー理解推進月間です。この事業を通してロータリーの活動やロータリーとはどのようなものか少しでも理解してもらいよききっかけになったのではないかと考えております。

ロータリーを理解する上で最も重要なのは四つのテストではないかと思えます。この四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラー（ハーブ）は、やり手で卓越したセールスマンであり、人の上に立つ人物であったそうです。この四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つとして知られています。社の倫理訓について構想をめぐらせたハーブは最初、およそ100語からなる文章をしたためましたが、これは長すぎると判断しました。そこでさらに推敲（すいこう）を重ね、それを7つの項目にまとめたのです。四つのテストは当初は、七つのテストだったのです。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなったわけです。1月のロータリーの友、抜粋ではありますが、参考になればと思えます。

ロータリーのことを知り、また、ロータリアン以外の人たちにも、ロータリーについて知ってもらうには、どのようなことに注意をしたらいいのでしょうか。それには常に、ロータリーに関する最新情報を確認することが一番です。一番早く、情報を入手するには、国際ロータリー（RI）のウェブサイトが最適です。日本のロータリーに関する情報は、Rotary Japanのウェブサイトで見ることが出来ます。皆様もたまに見てはいかがでしょうか。。

☆幹事報告☆
《小林幹事》

1月12日(土)分

- ①根室西ロータリークラブより上期分の会報が届いております。回覧は次回例会時にさせていただきます。
- ②1月のロータリーレートですが1ドル82円となっております。



1月23日(水)本日分

- ①根室西ロータリークラブより上期分の会報が届いております。
- ②the rotarian 1月号が届いております。またロータリーの友1月号が届いておりますので、皆様のパーソナルボックスの方へ入れております。
- ③釧路北ローターアクトクラブ40周年の記念誌が届いております、こちらもパーソナルボックスへ入れておりますのでよろしくお願いたします。



渡邊 享佳 君

みなさんこんにちは。今年もどうぞよろしくお願いいいたします。

本日は「年男大いに語る」ということでしたので「年男」を辞書で調べましたところ『家の正月の祭りの司祭者』とありました。年末には山から門松を切ってきたり、注連(しめ)飾りをこしらえたり、正月3日間は雑煮を作るなどし、神事に関するいっさいを務める大切な役目の人で、一般にはその家の主人が年男をすることが多いとありました。また今日では節分に豆まきをする、その年の干支にあたる男子を年男と呼ぶとありました。確かにその意味からすると今年も年末に正月の準備をし、お正月には雑煮をつくって家族にふるまったので役目をつとめたとは思いますが、実際のところは指示されるままに動いただけというのが実態でした。我が家の神様は今や奥様やお嬢様になってしまい、私はすっかり作男となっています。(神様、奥様、お嬢様、ありがたや、ありがたや)

また、もともと十二支とはこの世界の森羅万象・生々流転を12区切りにしたものだそうで、十二支の子年から辰年までは成長の段階とされ、巳年からは発展の段階へと進むとされています。つまり巳年は社会的には変化発展の年であり、個人的には次の段階へと一歩踏み出す発展の年といえます。

今年も癸巳(みずのとみ・きし)の年です。『癸(みずのと)』とは忍耐のなかにあつて発展への次期を見計らっている、という意味があるそうですし『巳(み)』は蛇を意味し、蛇は脱皮することから再生を象徴しています。新しい自分に生まれ変わる、人生の転機とするべき年が今年ではないかと思えます。思い起こせば前回の巳年には小泉政権が誕生し、前々回の巳年には昭和から平成へと移りました。確かに巳年は何か変化があり前に進む年にあたるのではないかと思えます。私も生意気盛りの20代、がむしゃらだった30代を過ごし、そして今は人生の半分を過ぎる所までできました。

これからは「なんとなくの生活」から「喜びをみいだせるような意欲的な生活」に移行していき、自分なりの幸せを見つけ出せばいいなと思っています。そのためには自分の思いを人に押し付けるのではなく、周りからご理解やご協力を得られるよう、利己を克服し感謝と誠実の「徳」を身に付け、人徳ある憧れのロマンスグレーを目指したいなと思っています。今年もそういった人間形成の転機となる1年にしていければと思います。これが年男として掲げた今年の目標です。ご縁があつてまた今年1年を共に過ごせる釧路北ロータリアンの皆さんに感謝し、共に健やかな1年を過ごすことで、自分自身成長の糧にしていきたいと思う次第です。皆様のご健勝とますますのご発展を心より祈念申し上げ、年男としてのご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願いいいたします。